

メガソーラー計画を調査

井上、本村、島津氏 静岡・伊東市



井上さとし参院議員、本村伸子衆院議員、島津幸広前衆院議員は3日、静岡県伊東市で平賀高成県議、伊東市の重岡秀子、佐藤龍彦両市議、大庭桃子函南町議と、メガソーラー(大規模太陽光発電所)建設計画の調査を行いました。

計画は45ヘクタール(東京ドーム9・5個分)の広さに太陽

光パネル12万枚を設置、景観破壊や土砂災害、河口での漁業被害などが危惧されています。近隣ではすでにパネル1万枚程度の発電所が2カ所稼働しており様々な被害が出ています。

地元で反対運動をしている中川陽三郎さんの自宅は、建設予定地から500メートルしか離れていません。中川さんの案内で予定地、既存発電所、漁港などを回りました。既存発電所はむき出しの地面にパイプが打ち込まれ、斜面から土砂が流出した跡も見られました。河口の八幡野漁港では、いとう漁協の稲葉功理事から話を聞きました。雨が降った後、土砂で港内が茶色に濁った写真も見せてもらいました。伊勢エビ漁やダイビングにも影響が出ています。

中止署名2万5千人 条例制定 建設中止を求める署名を昨年2団体が2万5千人分集め、知事に提出。今年2月に400人

が参加する住民大会を開催。市長も反対を表明し、市議会は全会一致で反対決議をあげ、市も規制条例をつくりました。

伊豆半島各地の議員、他党議員とも懇談

調査後の懇談には20人が参加。党伊豆地区の沢登英信・下田市、塚平育世・函南町、山田直志・東伊豆町、小林和子・河津町の各議員、伊東市の日本維新の会と国民民主党の市議も加わりました。建設に伴う被害への不安、市役所の対応、規制強化や情報公開など国への要望が出されました。

井上氏は「再生エネルギーの推進は必要ですが、環境保全と住民合意が前提です。規制強化や情報公開などみなさんの要望をいかします」。本村氏は「環境破壊と同時に防災の問題もあります。みなさんの命や財産を守るために一緒に頑張りたい」と述べました。

生活保護世帯にエアコン設置を 党名古屋市議団が厚労省へ

党名古屋市議団は3日、酷暑のもと、生活保護世帯や低所得世帯へのエアコン設置の支援を求める緊急の申し入れを厚生労働省に行いました。

厚労省は6月27日に、生活保護世帯へのエアコン設置のための費用の支給を認める通知を出しましたが、その内容が市町村に徹底されておらず、対象も今年4月以降の受給開始世帯に限定されるなど不十分です。

さらに、生活保護を利用していない低所得世帯への支援もありません。

申し入れは、①4月1日以前の生活保護受給世帯も対象とすること、②少なくとも医師等か

ら冷房設置が必要と判断された場合には支給対象とすること、③電気代相当額の夏季加算の創設、④生活困窮者への融資制度の改善の4項目です。

厚労省は、①について、「支給対象は4月1日以降の新規受給者に限り」と回答。ただ、「多くの団体などから3月以前の世帯も対象にと要望が寄せられている」とも。②については、「受け止めさせていたたく」、

③については、「2014年の調査で夏季に限って光熱費が上がるということがなかったため夏季加算は検討していません」、④については、「より認定の早い緊急小口資金貸付(最短で1週間で決定)について、社会福祉協議会に事前に通知を出していたが、十分周知されていないので、2日に再度、通知を出した」との回答が得られました。

党市議団は、医師から熱中症の危

◆9、10日 たけだ良介参院議員、島津幸広前衆院議員が、三重・伊賀市の太陽光発電、亀山市の風力発電を調査。

険があるため自宅にエアコン設置が必要だと指摘されている保護受給世帯もあり、医師の診断も支給の対象にすべきだと再度要請、①について、今夏の異常な暑さは、政府も「災害」規模だと認識している。エアコン設置は、「生命」に関わる問題として、従来の「生活用品」と次元が異なってきた。エアコン設置に思い切った支援をと重ねて要望しました。また、西区でエアコン設置のため、壁穴、専用コンセントなどの工費が多額になった実情を訴えました。

申し入れには、岡田ゆき子、山口清明、青木ともこ、藤井ひろき各名古屋市議らと、たけだ良介、田村智子、倉林明子各参院議員の秘書も同席しました。

◆10日 党愛知県委員会が、学校教育室へのエアコン設置を急ぐよう、文部科学省に要請行動。

